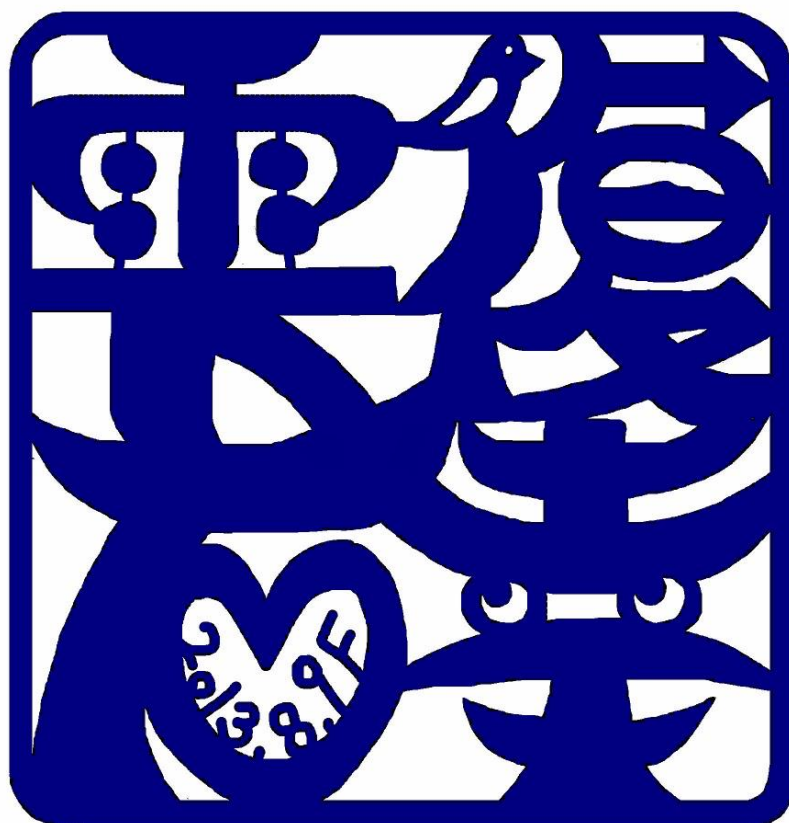


平成26年度
ふるさと雫石応援基金実績報告書



雫石町社会福祉協議会では、平成25年の大雨・洪水被害からの復興を願い、「復幸雫石」のロゴをデザインしました。「復興」の「興」が「幸」となっています。
町内在住の漫画家「そのだつくし」さんがデザインし、「復」には町鳥であるウグイス、「幸」には笑顔、「雫」には水滴、「石」にはハートが描かれています。

平成27年6月
岩手県 雫石町

1. はじめに

平成20年4月の地方税法の改正に伴い、雫石町では6月に「ふるさと雫石応援基金」を設置し、「ふるさと納税制度」による寄附金の募集を開始しました。

「ふるさと雫石応援基金」に設けた5つのメニューにより寄附を募集しましたところ、多くの皆様から“ふるさと雫石”を想われるお気持ちと、たくさんのご寄附をいただきました。

この度、平成26年度にいただいたご寄附についてのご報告をさせていただくとともに、あらためてお礼を申し上げさせていただきます。

雫石町は、「みんなが主役 誇らしく心豊かなまち しずくいし」を目標に、町民と行政が手を携え一体となってまちづくりを進めています。また、平成27年度は、一昨年に発生した大雨・洪水災害からの復旧事業をすべて完了させることを最優先とし、次に、5カ年計画の最終年度である町総合計画の5つの柱、「環境」「教育」「福祉」「産業振興」「安心安全」の各分野に重点を置き事業を実施してまいります。

皆様のふるさとを想うお気持ちは、町民の皆様とともに、これからの雫石町の発展のための大切な支えとなります。

雫石町では、未来へと続くふるさと納税制度をまちづくりの重要な手段の1つとして活用していきたいと考えており、引き続き皆様にご支援いただけるようなまちづくりに努めてまいります。

皆様におかれましては、ふるさとの未来のためになお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

雫石町長 深谷 政光

2. 平成26年度ふるさと雫石応援基金寄附状況について

(1) 寄附合計額 2,288,000円

(前年度比2,005,000円の減、前年度実績 4,293,000円)

《内訳》

1. ふるさとを担う人材育成及び子育てに関する事業	273,000円
2. ふるさとの自然と環境の保全に関する事業	95,000円
3. 福祉向上及び健康増進に関する事業	330,000円
4. 定住交流促進に関する事業	0円
5. 用途を指定しない	1,590,000円

(2) 寄附をいただいた方 (敬称略) … 43名 (実人数、前年度比25名減)

<氏名>	<住所> (市区町村まで)	<寄附金額>	<氏名>	<住所> (市区町村名まで)	<寄附金額>
曾根 偉行 様	千葉県千葉市	—	雫石 幸助 様	兵庫県明石市	5,000
高橋 登 様	神奈川県川崎市	20,000	(匿名)	神奈川県綾瀬市	—
武田 賢三郎 様	東京都目黒区	10,000	(匿名)	神奈川県横浜市	—
後藤 真一 様	—	30,000			
高橋 正重 様	神奈川県横須賀市	70,000			
赤澤 進 様	神奈川県横浜市	—			
谷地 隆 様	東京都北区	—			
坂本 巳由 様	東京都文京区	—			
高畑 昭四郎 様	千葉県船橋市	—			
大貫 哲弥 様	千葉県八千代市	70,000			
五十 嵐正男 様	—	—			
菅原 廣耕 様	—	500,000			
杉田 直実 様	東京都国分寺市	30,000			
堅田 隆博 様	北海道旭川市	—			
ほか26名の方々 青森県(3名)、岩手県(4名)、宮城県(1名)、群馬県(2名) 埼玉県(3名)、東京都(2名)、神奈川県(4名)、大阪府(3名) 岡山県(1名)、福岡県(1名)、長崎県(1名)、鹿児島県(1名)					

注) 氏名、住所、寄附金額の掲載は、ご本人の了解が確認できた項目のみとしております。

3. 寄附金の使途について

皆様から頂いた寄附金については、町予算に計上し、一旦「ふるさと雫石応援基金」に積み立てた後、平成26年度事業の中でご指定の事業の財源として使わせていただきました。

(1) ふるさとを担う人材育成及び子育てに関する事業への寄附金

「ふるさとを担う人材育成及び子育てに関する事業」を指定して寄附をいただいた273,000円については、「つどいの広場交流事業」に使わせていただきました。

「つどいの広場交流事業」では、これまでに「アートセラピー講座」「アロマフィットネス講座」等の個別事業を実施しています。平成26年度は、新たに「世代間交流事業」を実施し、つどいの広場を地域の人たちに親しみをもって利用していただき、子育て支援機能の充実を行っています。



つどいの広場開放日の様子

(2) ふるさとの自然と環境の保全に関する事業への寄附金

「ふるさとの自然と環境の保全に関する事業」を指定して寄附をいただいた95,000円については、「自然公園等保護管理事業」に使わせていただきました。

「自然公園等保護管理事業」では、町から委嘱された自然公園保護管理員によって、岩手山や駒ヶ岳をはじめとする十和田八幡平国立公園を中心とした登山道の管理や高山植物を守るためのパトロールなど自然環境の保全を行っています。



十和田八幡平国立公園 岩手山へ続く登山道

(3) 福祉向上及び健康増進に関する事業への寄附金

「福祉向上及び健康増進に関する事業」を指定して寄附をいただいた330,000円については、「地域保健福祉推進事業」に使わせていただきました。

「地域保健福祉推進事業」は、地域保健福祉審議会を開催し、町の保健福祉計画を策定するとともに、高齢者、障がい者を支援する活動やそのほか様々なボランティア活動を行っている社会福祉法人雫石町社会福祉協議会を支援し、「誰もがいきいきと暮らせるまちづくり」の実現を目指します。



保健福祉計画策定のためのワークショップ

(4) 定住交流促進に関する事業への寄附金

「定住交流促進に関する事業」を指定していただいた寄附金はありませんでしたが、寄附をいただいた場合は、「定住交流促進事業」などに使わせていただく予定です。

(5) 用途を指定しない寄附金

用途を指定せずに寄附をいただいた1,590,000円については、「地域コミュニティ形成推進事業」に使わせていただきました。

「地域コミュニティ形成推進事業」は、地域住民と行政との協働による、自主防災活動事業、地域福祉活動事業、環境保全活動事業、花と緑のまちづくり活動事業等の取り組みを通じ、地域住民の結びつきを強めることにより、より住みよい地域づくりの推進を目的として、平成18年度より重点的に取り組んでいる事業です。平成26年度末現在で74行政区中、64のコミュニティ組織が設立され、各組織とも活発に活動しています。



地域コミュニティ組織の地域点検の様子

4. おわりに

雫石町では、平成27年度においても、「ふるさと納税制度」による寄附を募集し、雫石町が皆様の心のふるさととして誇りを持って発展するために活用させていただきます。

なお、今年度9月をめどに寄附をいただいた方に対する記念品や寄附の用途の拡大を予定しています。既に寄附をされた方におかれましては遡って新しい制度を適用することとしますので、これについて、後日ご案内を申し上げます。

今後とも、ふるさと雫石の発展のために、多くの皆様からのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

〒020-0595

岩手県岩手郡雫石町千刈田5番地1

雫石町役場 企画財政課

電話：019-692-6572（直通）

FAX：019-692-1311

ふるさと納税専用eメールアドレス

ouen@town.shizukuishi.iwate.jp

雫石町ホームページ

<http://www.town.shizukuishi.iwate.jp>